

学校法人天理よろづ相談所学園

2018（平成30）年度 事業報告書

目 次

1. 法人の概要		
(1) 建学の精神	・・・	1
(2) 学校法人の沿革	・・・	1
(3) 設置する学校・学部・学科等	・・・	1
(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況	・・・	1
(5) 役員の概要	・・・	2
(6) 評議員の概要	・・・	2
(7) 教職員の概要	・・・	3
2. 事業の概要		
(1) 事業の概要	・・・	4
(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況	・・・	6
(3) 施設等の状況		
① 現有施設設備の所在地等の説明	・・・	7
② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況	・・・	7
(4) その他	・・・	7
3. 財務の概要		
(1) 決算の概要	・・・	8
(2) 主な財務比率比較	・・・	8
(3) その他		
① 有価証券の状況	・・・	9
② 借入金の状況	・・・	9
③ 学校債の状況	・・・	9
④ 寄付金の状況	・・・	9
⑤ 補助金の状況	・・・	9
⑥ 収益事業の状況	・・・	9
⑦ 関連当事者との取引状況	・・・	9
4. 参考資料【文部科学省科学研究費の獲得状況】	・・・	10

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

学校法人天理よろづ相談所学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、人に尽くすことを自らのよろこびとする天理教の信条教育を基調として、医療に従事する献身的な人材を育成することを目的とする。当法人は、この目的を達成するため、天理医療大学を設置する。

(2) 学校法人の沿革

平成 23 年 10 月 学校法人天理よろづ相談所学園設立認可

天理医療大学設置認可

医療学部看護学科 定員 70 名

医療学部臨床検査学科 定員 30 名

平成 24 年 4 月 天理医療大学開学

平成 28 年 3 月 第 1 回卒業式 挙行

平成 29 年 3 月 第 2 回卒業式 挙行

平成 30 年 3 月 第 3 回卒業式 挙行

平成 31 年 3 月 第 4 回卒業式 挙行

現在に至る

(3) 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘要
天理医療大学	平成 24 年 4 月	医療学部・看護学科 医療学部・臨床検査学科	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

【天理医療大学】

平成 30 年 5 月 1 日現在 (単位：人)

学部名	学科名	入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
医療学部	看護学科	70	280	306	
	臨床検査学科	30	120	108	
合計		100	400	414	

平成 30 年度入学試験を実施した結果、看護学科 81 名、臨床検査学科 28 名の入学があった。

平成 30 年 5 月 1 日現在の現員数は 414 名であった。

平成 30 年度は看護学科において 4 名の退学者があった。

なお、平成 31 年 3 月に第 4 期卒業生 94 名（看護学科 63 名、臨床検査学科 31 名）を送り出した。

(5) 役員概要

定員数 理事 6～8名、監事 2～3名

平成30年5月1日現在

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事（理事長）	奥村 秀弘	常勤	平成29年10月理事就任 平成29年10月理事長就任
常務理事	吉田 修	常勤	平成28年4月理事重任
常務理事	稲本 俊	常勤	平成29年10月理事重任
理事	永尾 教昭	非常勤	平成29年10月理事就任
理事	松田 洋和	非常勤	平成29年10月理事就任
理事	阪井 眞利子	非常勤	平成29年10月理事重任
理事	高橋 道一	非常勤	平成30年4月理事就任
理事	寺田 豊	常勤	平成29年4月理事就任
監事	山口 昌之	非常勤	平成29年10月監事就任
監事	村田 治彦	非常勤	平成29年10月監事就任

(6) 評議員概要

定員数 13～17名

平成30年5月1日現在

氏名	在任年月	主な現職等
奥村 秀弘	6年2か月	(学) 天理よろづ相談所学園 理事長
山中 忠太郎	1年0か月	(公財) 天理よろづ相談所病院 院長
庄司 和彦	6年2か月	(公財) 天理よろづ相談所病院 副院長
森岡 正彦	2年4か月	(公財) 天理よろづ相談所病院 事務長
今村 陽治	2年1か月	(公財) 天理よろづ相談所 事務局次長
吉田 宏二郎	0年1か月	元大和高田市立病院 副院長
青山 弘子	2年11か月	(公財) 天理よろづ相談所病院 看護部副部長
嶋田 昌司	0年1か月	(公財) 天理よろづ相談所病院 臨床検査部技師長
曾山 奉教	2年11か月	天理医療大学 医療教育・研究センター講師
市村 輝義	0年1か月	元関西医療大学 教授
戸田 好信	1年2か月	天理医療大学 医療学部臨床検査学科学科長
林 みよ子	1年0か月	天理医療大学 医療学部看護学科学科長
奥村 和夫	6年2か月	天理医療大学 医療学部看護学科教授

松山 仁志	1年0か月	天理医療大学 事務局次長
-------	-------	--------------

(7) 教職員の概要

平成30年5月1日現在 (単位：人)

区分		本部	天理医療大学	計	摘要
教員	本務	—	54	54	
	兼務	—	115	115	
職員	本務	6	12	18	
	兼務	0	3	3	

平成30年度は、教員8名を新規採用した。
平成31年3月末までに教員6名が退職した。

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

平成24年4月の大学開設から丸7年が経過し、平成31年3月には第4期卒業生94名（看護学科63名、臨床検査学科31名）を卒業させることができた。

「人に尽くすことを自らの喜びとする」という天理教の信条教育を基調とする教育・研究上の理念を柱に、将来、自律と協働する力の備わった有為な医療のプロフェッショナルとしての看護師・臨床検査技師の育成を目指し、医療人としての基礎をつくる「総合基礎科目（人間と社会・協同的医療実践の基礎）」また専門分野の理解に向けて「共通専門基礎科目（体のしくみと医療・協働的医療実践の展開）」に本学の独自性のある教育を実践してきた。

大学運営において理事会機能の充実を図り、また理事会と事務職員との情報共有体制の確立のための事務局幹部会の開催を継続してきた。

今年度は大学基準協会による大学認証評価を受け、「判定保留」の結果が示されたため2021（令和3）年度までに再評価を受けることとなった。再評価に向けて指摘事項の改善に取り組む。

また、今年度の入学生より新カリキュラムによる教育が開始された。

【基礎教育】

新入生に対して基礎学力試験（数学、英語、生物、化学）を実施した。これらの結果をもとに、英語については成績に応じて前期および後期の英語関連科目の履修科目の指定を行った。生物、化学、英語について一定の成績以下の学生には補習授業の受講を勧めた。

【看護学科】

◎看護学教育推進のために、各分野長で構成する看護学教育検討ワーキングと助手・助教・講師で構成する助講会をそれぞれ月1回の会議を開催した。

◎国家試験対策のため各学年のチューターが中心となって支援を行った。

4回生対象

- ・模擬試験受験計画の立案
- ・自己採点結果に基づく学生の個別指導
- ・業者模擬試験以外の試験問題の作成
- ・模試結果の分析と対策の検討
- ・学生からの学習支援ニーズの聴取とそれに基づく補習講義の実施

3回生対象

- ・随時に国家試験受験に向けた動機付け
- ・低学年模擬試験の実施、結果の分析と学習指導
- ・国家試験に向けた学習に必要な書籍の選択と購入

2回生対象

- ・低学年模試の実施、受験後の個人面接

【臨床検査学科】

◎国家試験対策として平成30年4月から平成31年2月の国家試験直前期まで前期6回、後期12回 計18回の模試（教員作成6回、企業模試8回 過去問等4回）を行った。前期は模試前後に試験対策と解説を行った。前期の最後に実施した総合模試で一定の得点が取得できていない学生を学科会議で選抜し、補講出席対象者とした。

補講は全教員が講師となり、8月6日から9月28日まで、お盆休みや土日を除く

毎日午前中に開講した。

後期9月からスタートする全国模試の成績を含め、成績優秀者をリーダーとするグループを6グループ結成し、グループワークを主体とする国家試験勉強を開始。国家試験まで毎週リーダーより週報を提出させてチューターでチェックしグループ学習の出席率について確認を徹底した。模擬試験ごとにグループメンバーの成績推移を検討、リーダー会議を数回催し、勉強方法などの共有、成績不良者の勉強方法の対策を検討した。

後期は全12回の模試を行った。模試ごとに成績が伸びない学生については、学生が講師あるいは教員が講師として臨時補習を複数回開講、国家試験前までこの方法を継続した。成績が伸びない学生に対するリーダーのリーダーシップは非常に高く、グループごとで一一致団結して合格に向かう姿勢が認められた。

- ◎就職対策として3回生は9月と2月、4回生は5月に進学、就職説明会と業者による講義（面接法、履歴書書き方等）を実施。またチューターによる模擬面接を随時開始した。

実技試験を実施される施設への試験に対しては実技試験対策を実施した。

病院などの現場で活躍する技師の方々に来ていただき実施した就職セミナーは、就職活動のモチベーションを大いに上げた。

今年度は就職セミナーの時期を早め、就職活動ハンドブックを臨床検査学科に特化した内容に改訂し、施設見学のアポイントの取り方や、大学への提出書類など事務手続きについても掲載し活用した。

就職試験の際に国家試験も想定した学力試験を科すところもあるため、低学年の頃から専門科目に関する基礎的知識習得が特に重要であり、その成果が3回生の臨床地実習で発揮される。この一連の流れを見直しながら4回生として意識付けを図ることが重要であり早期から就職対策に取り組んだ。

【奈良県大学連合FD・SD教職員研修会】

奈良県大学連合FD・SD教職員研修会を実施担当校として「教員・スタッフのためのマネジメント教育：組織課題の見える化」をテーマに実施し、本学を含め、加盟大学10大学より71名の参加があった。

日時：平成31年1月29日（火）15：00～16：30

会場：天理医療大学

講師：次橋 幸男 氏 Tsugihashi Yukio, MD, MPH, MMM

天理医療大学 医療教育・研究センター 特任講師

公益財団法人天理よろづ相談所病院

患者総合支援センター／在宅センター 医師

演題：「教員・スタッフのためのマネジメント教育：組織課題の見える化」

【研究委員会】

- ◎天理医療大学リトリート2018を平成30年9月と平成31年3月の2回にわたり開催した。

学長基調講演、11件の口演による共同研究成果発表、第1回・第2回合わせて合計50演題の個人研究ポスター発表、研究倫理講演会、学科別研究講演会を実施した。

- ◎文科省通知に基づき、全教員対象に倫理教育を実施した。実施方法としてはeLCORE活用も検討したが、周囲の大学動向調査の結果、当面は研究倫理講習会とCITIJapanの受講義務付けにより実施した。

【公開講演会】

◎5月19日(土)13:30より本学4階講堂において、講師として神戸学院大学心理学部講師の中村珍晴(なかむらたかはる)先生を招き、「私は車椅子に乗っている。ただそれだけのこと。」をテーマに講演会を開催した。参加者は学内教職員、学生、学外参加者を合わせて274名であった。

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

天理医療大学の第8期入学者を選抜するにあたり、入学者選抜試験を昨年度から引き続き指定校推薦入学試験、公募推薦入学試験、一般入学試験の3回で実施し、それぞれ下記の通りの結果となった。

※入学者選抜試験応募状況

(単位：人)

試験種別	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	摘要
指定校推薦入学試験	18	18	18	18	
公募推薦入学試験	57	57	47	47	
一般入学試験	67	67	60	44	
計	142	142	125	109	

広報活動としてオープンキャンパス・入試説明会を開催した。

本年度の参加者数は高校生229名(既卒者含む)、保護者154名であった。

また、オープンキャンパス運営の協力にボランティアとして92名の学生の参加があった。

※オープンキャンパスアンケート結果より

(単位：人)

	アンケート回収率	性別		学年			希望学科	
		男	女	3年	2年	1年	看護	臨床検査
第1回(5/26)	88%	5	33	32	4	0	34	4
第2回(6/23)	71%	2	25	23	1	1	22	3
第3回(7/28)	75%	7	39	32	11	2	32	14
第4回(8/25)	92%	8	78	25	52	6	58	28
計		22	175	112	68	9	146	49

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積等(m ²)	取得価額(円)	帳簿価額(円)	摘要
奈良県 天理市 別所町	校地等	11,383.33	—	—	天理教より無償貸与
	校舎	12,141.05	2,061,473,283	1,409,518,156	減価償却による減額

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

【エアコン更新工事】

平成30年度から4年計画で校舎のエアコンの更新工事を開始した。今年度は東校舎(A棟)の北側半分を対象として実施した。

工事名：天理医療大学校舎空調機更新1期工事

請負業者：三菱電機システムサービス株式会社

施工期間：平成30年8月16日～平成30年9月30日

金額：32,292,000円(税込)

(4) その他

特に記載すべき事項なし。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

※別紙決算書参照

(2) 主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	算式(×100)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	摘要
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	87.8	75.7	69.4	72.6	
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	89.8	87.1	78.9	83.5	
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	26.1	24.7	26.5	27.0	
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	10.4	6.2	4.6	5.2	
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-19.7	-6.6	1.6	-2.2	
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	122.2	106.6	97.0	99.4	
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	97.9	86.9	85.7	87.0	
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.1	0.3	0.1	0.1	
経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.1	0.3	0.1	0.1	
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	0.0	11.3	10.0	11.4	
経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	0.0	11.3	10.3	11.4	
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	-1.8	0.0	-1.5	-5.5	
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	14.2	13.7	13.1	12.5	
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-24.4	-6.6	-0.5	-4.8	
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-24.4	-6.6	-0.5	-4.8	

(3) その他

①有価証券の状況

該当なし

②借入金の状況

該当なし

③学校債の状況

該当なし

④寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額（千円）	摘要
研究寄付金	(株)日立ハイテクノロジーズ	600	研究奨励寄付金
研究寄付金	臨床検査医学研究振興資金	500	助成金

⑤補助金の状況

平成 30 年度の私立大学等経常費補助金を申請し、88,389,000 円の交付を受けることができた。

⑥収益事業の状況

該当なし

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

該当なし

イ) 出資会社

該当なし

4. 参考資料 【文部科学省科学研究費の獲得状況】

平成30年度 文部科学省科学研究費 (課題一覧)

No.	研究者		研究種目	新規/継続	共同/単独	課題番号	課題名	研究期間		助成金額 合計		外題送金額		学内 使用金額	
	所属	職位						氏名	年数	年度	(A)繰越金	(B)H30 直接経費	(C)H30 執行額 (+B)	間接経費	直接経費
1	看護	教授	林 みよ子	新規	単	18K10333	脳血管疾患患者の早期在宅移行を支える包括的継続的システム支援に関する研究	4	平成30年度	700,000	0	700,000	0	700,000	210,000
2	看護	教授	岡本 智子	新規	共・代	18K10864	脳血管疾患患者の早期在宅移行を支える包括的継続的システム支援に関する研究	3	平成30年度	900,000	0	900,000	100,000	800,000	240,000
3	センター	助教	山本 佳生子	新規	共・代	18K00993	医療現場における医療者による「無条件」患者支援の実現可能性	3	平成30年度	1,100,000	0	1,100,000	630,000	470,000	141,000
4	臨床検査	講師	中村 彰弘	新規	単	18K16188	多発性大腸癌 S1141 クローン腫瘍のタンパク質の同定とその機能解析	3	平成30年度	1,700,000	0	1,700,000	0	1,700,000	510,000
5	病院	研究員	岩嶋 剛	新規	単	18K18407	人工知能の応用した音声情報による医療診断支援システムの開発	3	平成30年度	1,700,000	0	1,700,000	0	1,700,000	510,000
6	センター	教授	金井 恵理	継続	共・代	17K08808	がん化学療法における心筋コントリアクトアブゾプターの制御による心不全治療の開発	3	平成29年度	882,868	0	882,868	330,000	552,868	315,000
7	臨床検査	教授	堀江 修	継続	共・代	17K12605	新興感染症制御の国際標準化と看護学への応用を目指したサーモグラフィ	3	平成29年度	900,000	0	900,000	130,000	770,000	231,000
8	臨床検査	教授	増谷 弘	継続	単	17K08658	Temp/パルスオキシメトリによる代謝制御・発熱抑制	3	平成29年度	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	450,000
9	病院	研究員	林野 希明	継続	単	16K08897	糖尿病患者の心理社会的な健康と糖尿病ケアチームに関する前向きコホート研究	3	平成28年度	28,955	0	28,955	0	28,955	860,000
10	看護	教授	岩本 淳子	継続	共・代	15K08827	病状の異なる高齢者の病院内転倒に及ぼす影響に関する前向きコホート研究	4	平成27年度	1,018,063	0	1,018,063	270,000	748,063	210,000
11	看護	准教授	奥田 真紀子	継続	共・代	16K12255	看護職を基盤とした在宅医療推進計画の策定およびその有用性の検証	4	平成28年度	1,740	0	1,740	150,000	1,590,000	135,000
12	看護	准教授	川喜田 恵美	継続	単	17K12435	高齢者の要介護期間および終末期の医療と生活に関する意思形成プロセス	3	平成28年度	1,045,546	0	1,045,546	0	1,045,546	180,000
13	看護	講師	山中 政子	継続	共・代	16K12084	成人外傷が患者へのがん修繕セリブタンジンを促進する腫瘍介入プログラムの開発	4	平成28年度	1,200,000	0	1,200,000	100,000	1,100,000	330,000
14	検査	助教	伏木 智子	継続	共・代	17K10127	後天性免疫不全症における凝固抑制機序の解明と新規治療法の創出	3	平成29年度	0	0	1,100,000	330,000	770,000	231,000
15	看護	教授	林 みよ子	※期間延長	単	24K03362	脳卒中者の家族介護者に対する在宅支援介入プログラムに関する研究	4	平成28年度	2,241,056	0	2,241,056	0	2,241,056	0
16	看護	教授	岡本 智子	※期間延長	共・代	15K11833	心きこもり児の育育の報告が抱える問題の抽出と支援に関する質的研究	3	平成27年度	1,780,353	0	1,780,353	0	1,780,353	0
17	看護	講師	高橋 里沙	継続	単	17K17555	アフリカにおける集団免疫獲得プログラムの開発と長期的効果の検証	4	平成28年度	463	0	1,200,000	0	1,200,463	360,000
18	看護	助手	小川 朋子	継続	単	16K02740	新人看護士の学習意欲に影響を与える因子に関する横断的調査	3	平成28年度	772,265	0	772,265	0	772,265	30,000
19	臨床検査	教授	堀江 修	※期間延長	共・分	15K11492	サーモグラフィを医療現場に活用するための画像伝送および診断システムの開発	3	平成27年度	260,000	0	260,000	0	260,000	0
20	臨床検査	教授	堀江 修	継続	共・分	16K12356	コア技術的基礎を活用したヘルスプロモーションプログラムの開発と実践への応用	3	平成28年度	100,000	0	150,000	0	150,000	15,000
21	看護	助教	高橋 里沙	継続	共・分	17K12497	精神科看護師が対患者側面において果たす役割に関する質的研究	3	平成29年度	50,000	0	100,000	0	100,000	15,000
22	看護	講師	森嶋 道子	新規	共・分	18K10261	臨床看護職員の臨床的価値力の向上支援プログラムの開発	3	平成30年度	0	0	50,000	0	50,000	15,000
23	検査	助教	伏木 智子	新規	共・分	17K04231	血液病分子診断の解明と早期因子高機能化に関する研究	3	平成29年度	0	0	200,000	0	200,000	60,000
24	検査	教授	堀江 修	新規	共・分	18K10373	創薬ターゲットの探索と臨床看護学への応用	3	平成30年度	0	0	10,000	0	10,000	3,000
25	センター	助教	山本 佳生子	新規	共・分	18H04705	差別意識の医療者負担と患者の要介護期間・大規模日本国籍調査及び国際比較	3	平成30年度	10,417,478	174,100,000	184,517,478	150,000	184,367,478	4,746,000

※ 林先生、岡本先生は当初、平成29年度で承認されていたが、1年の延長申請をした結果、平成30年度に変更となった。
平成30年度の研究員については、平成29年度の研究員の繰り越し分のみ、継続で研究費を継続する。

